

銘柄: 金

氏名: 宮永 正人

金市場は、緩やかに下値固めか...

東京金先限日足



コメント

○東京金先限終値 2,916円 (前日比+9円)  
国内金市場は、小動きで終了。  
ポイントは来週の23、24日とFOMC(連邦公開市場委員会)が予定されており、量的緩和政策に対してどのような見解を発表するか注目が集まっている。前回のFOMCの議事録では、緩和策拡大について話し合われた経緯が判明し、金価格が大きく変動した。  
また、米財務省が来週総額1040億ドルにのぼる国債の発行予定を先日発表した。これまで4、5月の総額1010億ドルが最高で、過去最大規模の入札になるようだ。前回の入札は無難にこなしたが、来週の入札は一定の警戒感がある。将来のインフレ懸念が来週再燃する可能性も考えられるだろう。  
国内金チャートは、Bライン手前でサポートが出現し2,900円前後のもみ合いになっている。  
結論から言えば、ダウトレンドの戻りが目先考えられる。ここからは、むやみな売りトレードを控えて、押し目買い狙いが有効なトレード。ただ、買いも支援材料が乏しくファンダメンタルを考えると上値も限られるだろう。本日発表のCFTC建玉明細(NY金)のファンドポジションに注目。ロングポジションの約21万枚の変動に注意だ。(19日 16:30 宮永)

テクニカル

移動平均(5MA)	2,923
移動平均(25MA)	2,960
RSI(14日)	44.83%
MACD線(12-26)	5.71
シグナル線(9)	22.86

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている『取引の重要事項』をご確認ください。